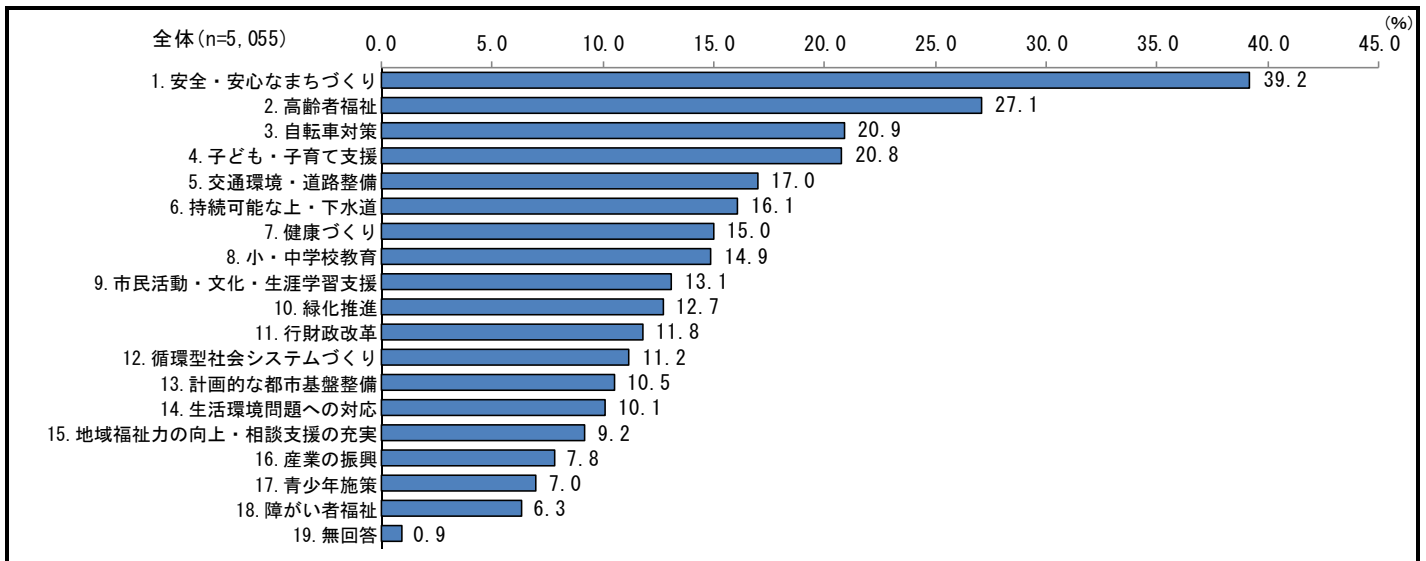


## 令和5年度 市政アンケート調査結果【速報】

市では、市政を計画的に進めるうえでの資料として活用するため、昭和39年度から市政アンケート調査を実施しています。今年度の調査概要・集計結果（速報値）は下記のとおりです。（前回は令和3年度に実施）

- （１）調査対象：武蔵野市内に居住する全世帯（78,700世帯）にアンケートはがきを配布  
併せて、インターネットの回答画面より回答
- （２）調査期間：令和5年9月15日（金）～10月6日（金）（9/15市報と同時に調査票配布）
- （３）調査内容：従来の施策に対するニーズ調査と市の取組みに関する評価
- （４）回収状況：有効回収数 5,055通 回収率 6.4%（うち、866通分がインターネットによる回答）  
（前回令和3年度有効回収数：5,878通 回収率7.5%（うち、920通分がインターネットによる回答））

【質問】「今後、重点的に進めてほしいもの」を3つまでお選びください。



### 【全体】

「安全・安心なまちづくり」が39.2%と約4割で特に高く、次いで「高齢者福祉」（27.1%）、「自転車対策」（20.9%）、「子ども・子育て支援」（20.8%）が2割を超えている。

### 【詳細項目】

1位の「安全・安心なまちづくり」の詳細項目の中では、「防災態勢強化」が41.2%と最も高く、次いで「防犯対策」が24.5%、「ライフライン対策」が23.8%と続いている。2位の「高齢者福祉」では、「在宅サービス」が27.4%と最も高く、次いで「福祉人材の確保・育成」が22.5%、「介護保険」が18.4%と続いている。3位の「自転車対策」では、「自転車の安全利用啓発」が42.1%と最も高く、次いで「自転車走行空間整備」が39.4%、「駐輪場整備」が21.6%と続いている。

### ◆前回調査と比較して大きな変化が見られたもの

最も大きな変化が見られたのは「健康づくり」で、前回の19.1%から15.0%と4.1ポイント減少し、順位が4位から7位に下がっている。また、「持続可能な上・下水道」は前回の12.5%から16.1%と3.6ポイント増加し、順位が9位から6位に上がっている。上位3位の順位は前回から変わっていないものの、2位の「高齢者福祉」は前回の24.4%から27.1%と2.7ポイント増加している。

### ◆性別により回答比率の差が大きかったもの

男性で特に回答割合が高かったものは「行財政改革」〔男性 15.6%：女性 9.3%〕と「交通環境・道路整備」〔男性 20.1%：女性 14.9%〕、「自転車対策」〔男性 24.0%：女性 19.3%〕となっている。一方、女性で特に回答割合が高かったものは「安全・安心なまちづくり」〔女性 43.0%：男性 34.3%〕と「循環型社会システムづくり」〔女性 12.9%：男性 8.9%〕、「高齢者福祉」〔女性 28.7%：男性 25.2%〕となっている。なお、性別のそれ以外の回答者はごく少数であるため全体数に含める。

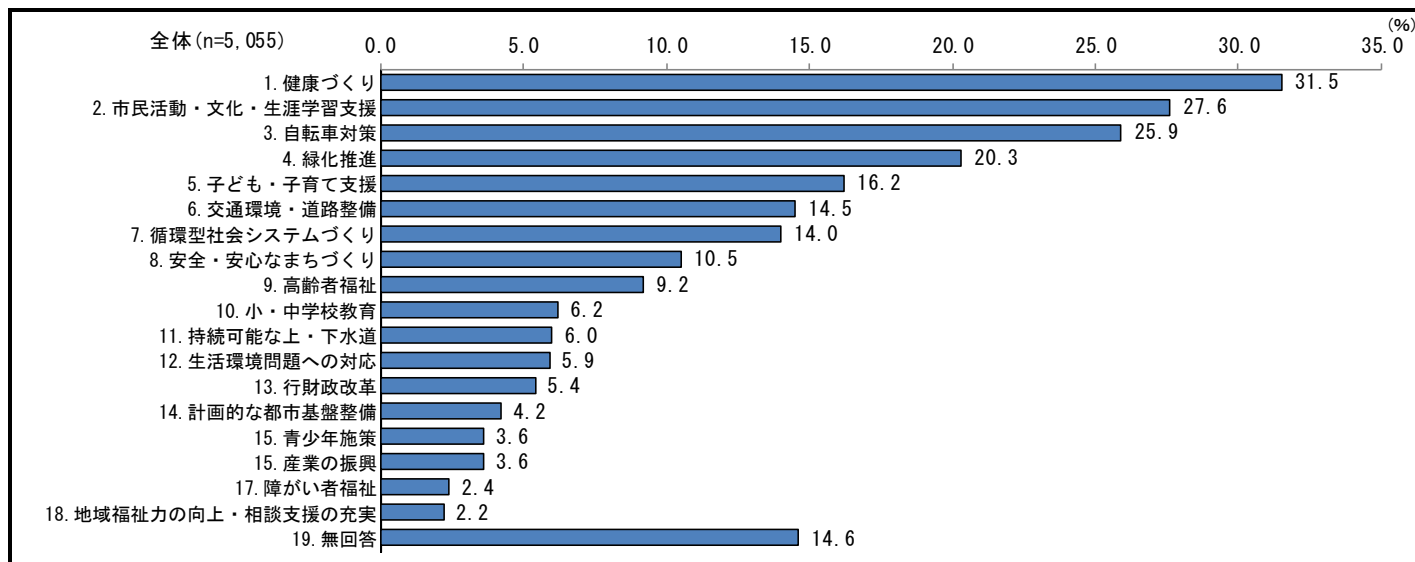
### ◆年代により回答比率の差が大きかったもの

「高齢者福祉」は50歳代で22.4%、60歳代で33.2%、70歳代以上で45.9%と割合が上昇しているのに対して、40歳代以下では1割を下回っている。一方、「子ども・子育て支援」「小・中学校教育」「青少年施策」は40歳代以下で高い割合となっており、「子ども・子育て支援」は30歳代では58.3%と6割近くで特に高い。「安全・安心なまちづくり」は50歳代以上が4割を超えているのに対して、30歳代は27.3%とやや低くなっている。

### ◆地域により回答比率の差が大きかったもの

吉祥寺地域では「安全・安心なまちづくり」が41.9%と、中央地域（36.8%）、武蔵境地域（38.7%）よりも高い。中央地域では「地域福祉力の向上・相談支援の充実」が11.9%と、吉祥寺地域（7.7%）、武蔵境地域（8.8%）よりも高い。武蔵境地域では「小・中学校教育」が18.2%と、吉祥寺地域（12.2%）、中央地域（15.4%）よりも高くなっている。

【質問】「市の取組みで評価できるもの」を3つまでお選びください。



【全体】

「健康づくり」が31.5%と最も高く、次いで「市民活動・文化・生涯学習支援」(27.6%)、「自転車対策」(25.9%)、「緑化推進」(20.3%)と続いており、これら4項目が2割を超えている。

【詳細項目】

1位の「健康づくり」の詳細項目の中では、「各種健診・検診」が74.2%と最も高く、「予防接種」が31.2%と続いている。2位の「市民活動・文化・生涯学習支援」では、「図書館・武蔵野プレイス」が55.0%と最も高く、「コミュニティセンター」が19.4%、「文化・芸術」が13.8%と続いている。3位の「自転車対策」では、「駐輪場整備」が46.9%と最も高く、次いで「2時間無料制度」が38.3%「放置自転車取締まり」が18.8%と続いている。

◆前回調査と比較して大きな変化が見られたもの

最も大きな変化が見られたのは「健康づくり」で、前回の22.8%から31.5%と8.7ポイント増加し、順位が3位から1位に上がっている。また、「自転車対策」は依然高いものの、前回の28.5%から25.9%と2.6ポイント減少し、順位が1位から3位に下がっている。

◆性別により回答比率の差が大きかったもの

男性で特に回答割合が高かったものは「持続可能な上・下水道」〔男性 7.9%：女性 4.7%〕と「行財政改革」〔男性 6.9%：女性 4.4%〕、「循環型社会システムづくり」〔男性 15.4%：女性 13.5%〕となっている。一方、女性で特に回答割合が高かったものは「子ども・子育て支援」〔女性 18.5%：男性 13.0%〕と「緑化推進」〔女性 21.9%：男性 18.5%〕、「健康づくり」〔女性 33.3%：男性 30.0%〕となっている。

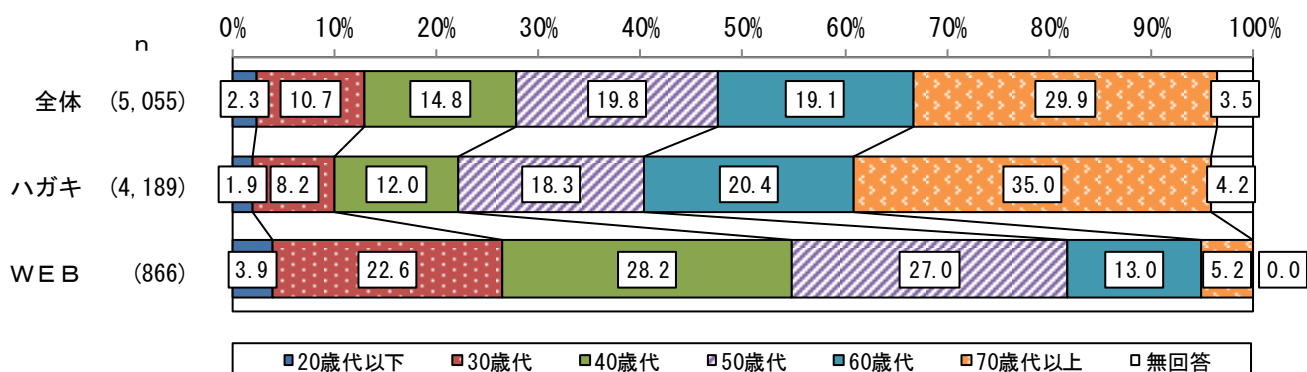
◆年代により回答比率の差が大きかったもの

「子ども・子育て支援」は30歳代で36.2%、40歳代で28.4%と高くなっているのに対して、70歳代以上では8.5%となっている。「健康づくり」は50歳代以上では3割半ば以上の割合なのに対して、30歳代では18.2%となっている。「自転車対策」は全ての年代で2割を超えているものの、特に50歳代で33.4%と高くなっている。

◆地域により回答比率の差が大きかったもの

吉祥寺地域では「交通環境・道路整備」の回答割合が15.6%と、中央地域(11.9%)、武蔵境地域(15.4%)よりも高い。中央地域では「緑化推進」の回答割合が24.6%と、吉祥寺地域(16.5%)、武蔵境地域(21.9%)よりも高い。武蔵境地域では「市民活動・文化・生涯学習支援」の回答割合が34.2%と、吉祥寺地域(22.7%)、中央地域(27.7%)よりも高くなっている。

●回答方法別年代内訳



※各数値は単位未満四捨五入のため、合計値に一致しない場合がある。